

今週の株式相場見通し

- * 日経平均 22,500~23,500円 TOPIX 1,580~1,650
- * 期待材料 菅政権のデジタル庁新設などの政策 各国の政策協調 5G化の進展
- * 不安材料 新型コロナ再拡大 米国追加経済対策の遅れ 米中対立 英・EUのFTA交渉決裂
地政学的リスク

経済協力開発機構(OECD)が、16日に世界経済見通しを発表した。20年については、マイナス4.5%とし、6月時点の予想に対して1.5ポイントの上方修正となった。各国でロックダウンからの経済活動の再開が進んだことを踏まえた判断としたが、新型コロナの感染が再拡大する場合には2~3ポイント下振れする可能性があるとしている。新型コロナの新規感染者数は、8月半ばから欧州、特にスペイン、フランスでの増加が顕著であり、直近では英国も両国の後を追うように感染者が増加していることから、当該国では再度、経済活動の制限措置を強化しつつあり、経済への下押し圧力が強まっている。また、米国でも7月末以降は減少傾向にあった新規感染者数が足元で増加しつつあり、経済活動の制限措置強化への懸念が高まる状況にある。このような環境下、米国では、追加経済対策に関する共和、民主両党による協議が、両党の大統領・議会選挙への思惑、最高裁判事の任命問題での対立から難航している。現状の航空業界向け雇用維持策や失業給付の積み増し措置が10月にかけて順次失効、予算切れとなることが想定され、新規感染者の拡大による経済活動の制限措置強化と米国の追加経済対策の遅れが、世界経済を再減速させるリスクが市場で意識され始めている。他にも、ジョンソン英首相がEUとのFTA交渉期限とする10月15日が迫るなか、難航する交渉の進展状況も大きな注目を集めるものと思われる。第1回大統領候補討論会から佳境に入る米大統領選も、市場における様子見気分を強める。新型コロナの感染状況を筆頭に、海外発の懸念材料、不透明要因が意識されることで外需株については上値の重い展開となる一方、好業績小売企業株が選別物色される展開が強まるものと思われる。(9月24日現在、多功 毅)

今週の予定

	国内	海外
9/28 (月)	ハイデイ日高(7611)2Q決算 しまむら(8227)2Q決算	[米]エピックゲームズとアップルの訴訟 第2回口頭弁論
29 (火)	9月の金融政策決定会合の「主な意見」 DCMHD(3050)2Q決算	[米]第1回大統領候補テレビ討論会 [米]9月消費者信頼感指数(23:00)
30 (水)	8月鉱工業生産(8:50) 8月小売売上高(8:50) スター・マイカHD(2975)3Q決算 西松屋チェーン(7545)2Q決算	[中]9月製造業、非製造業PMI(10:00) [中]9月財新製造業PMI(10:45) [米]9月ADP雇用統計(21:15) [米]4-6月期GDP確報値(21:30)
10/1 (木)	たばこ税が増税 酒税法改正 日銀短観(8:50) キューピー(2809)3Q決算	[中]国慶節(~8日) [欧]EU首脳会議(~2日) [米]8月PCEコアデフレータ(21:30) [米]9月ISM製造業景況指数(23:00)
2(金)	8月失業率(8:30)	[米]9月雇用統計(21:30)
3(土)	登山の日	[独]東西ドイツ再統一から30年
4(日)	証券投資の日	[仏]競馬 凱旋門賞

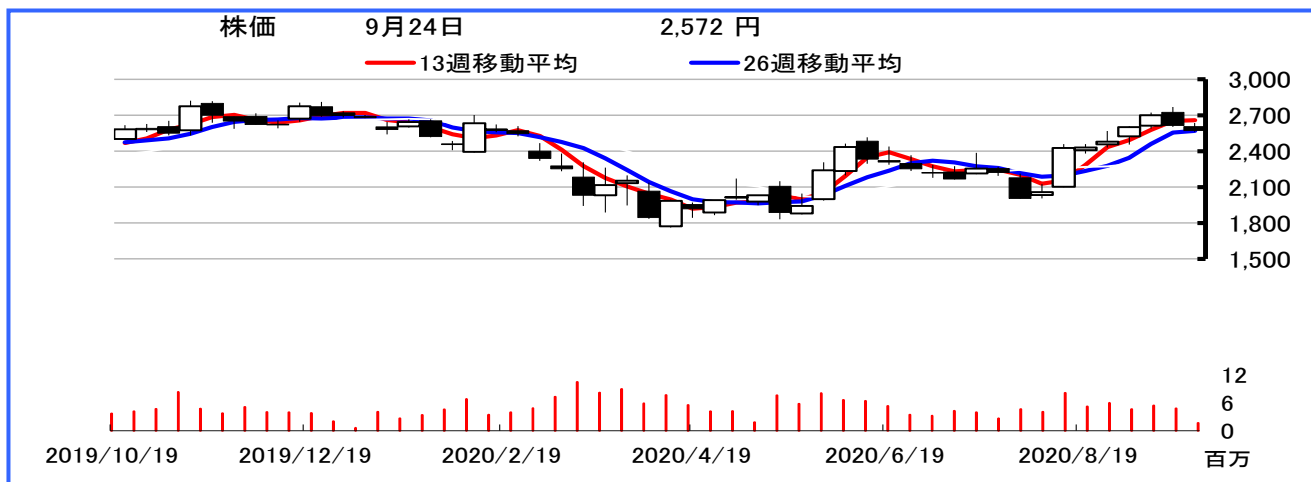
出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

今週の参考銘柄

三井化学 (4183)

東証 1 部



	19年3月期 (億円) 前年比	20年3月期 (億円) 前年比	21年3月期(予) (億円) 前年比	株価(9/24)	2,572 円
売上収益	14,829 11.6%	13,495 —	11,700 -13.3%	業種	化学
コア営業利益	934 -9.7%	723 —	400 -44.7%	売買単位	100 株
営業利益	761 6.3%	646 —	420 -35.0%	PER(予想)	18.2 倍
当期純利益	385.6	340 —	270 -20.5%	PBR(実績)	1.0 倍
EPS(円)	100.0	100.0	100.0	ROE(実績)	7.0 %
配当金(円)				配当利回り(予想)	3.9 %
				担当	多功 毅

20年3月期まで日本会計基準、21年3月期からIFRS。20年3月期の業績はIFRSで再集計した数値を掲載
* 出所：業績に関する数値は決算短信より

汎用的な石化製品を中心とする基盤素材事業、自動車向け素材のモビリティ事業、包装材料などのフード&パッケージ事業、メガネレンズ材料や歯科材料などのヘルスケア事業を展開している。

21年3月期1Q決算はフード&パッケージ事業は包装用フィルムや農薬を中心に堅調に推移したものの、基盤素材事業が自動車向けポリプロピレンの落ち込みや原材料価格の急落による在庫評価損の計上、モビリティ事業が自動車業界向けPPコンパウンドの減少、ヘルスケア事業が行動自粛の影響でメガネレンズ材料や歯科材料が落ち込んだ。IFRS基準で再集計した前年1Qの業績に対して、26.2%減収、コア営業利益で97.6%減益。一方、通期計画については、期初見通しに対してヘルスケア事業におけるマスクや医療用ガウン向け不織布の増販効果、基盤素材事業における市況改善を織り込みコア営業利益を50億円上方修正し13.3%減収、44.7%減益を計画している。

業績が大きく悪化する中で、今期配当額については前年比据え置きと発表した。安定配当が基本方針であり、今期の減益は新型コロナの影響による一過性と判断したと説明している。当社の営業利益率は平時で5~6%程度の推移となっている。注力するモビリティ、ヘルスケア、フード&パッケージの3事業が10%前後の利益率を確保する一方、基盤素材事業が全社の収益性を低下させる構図が定着している。会社側は来年5月に基盤素材事業の構造改革を発表するとしており、全社利益率の向上につながることを期待される。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

特集 銘柄スクリーニング(対象：東証1部)

銘柄コード	銘柄名	株価 (9/23)	今期				来期		
			決算期 年/月	経常利益 (会社) [百万円]	経常利益 (東洋経済) [百万円]	乖離率 東洋経済 予想と 会社予想	決算期 年/月	経常利益 (東洋経済) [百万円]	増益率 東洋経済 予想
5707	東邦鉛	2,027	21/3	1,000	5,000	400.0%	22/3	5,800	16.0%
1811	銭高組	4,855	21/3	1,750	5,900	237.1%	22/3	6,200	5.1%
5970	ジーテクト	1,212	21/3	1,600	4,200	162.5%	22/3	11,000	161.9%
1975	朝日工	3,180	21/3	700	1,500	114.3%	22/3	2,300	53.3%
8934	サンフロ不	867	21/3	6,500	13,500	107.7%	22/3	15,500	14.8%
7513	コジマ	515	20/8	2,700	5,600	107.4%	21/8	5,800	3.6%
6330	東洋エンジ	348	21/3	500	1,000	100.0%	22/3	2,300	130.0%
4116	大日精	2,293	21/3	1,200	2,200	83.3%	22/3	5,200	136.4%
5388	クニミネ	1,079	21/3	780	1,400	79.5%	22/3	1,500	7.1%
5612	鑄鉄管	1,249	21/3	350	610	74.3%	22/3	660	8.2%
3915	テラスカイ	4,920	21/2	507	880	73.6%	22/2	1,080	22.7%
3048	ビックカメラ	1,126	20/8	6,500	11,000	69.2%	21/8	22,000	100.0%
1921	巴	389	21/3	1,200	2,000	66.7%	22/3	2,300	15.0%
6381	アネスト岩田	838	21/3	800	1,300	62.5%	22/3	2,700	107.7%
9997	ペルーナ	954	21/3	7,800	11,900	52.6%	22/3	12,200	2.5%
7244	市光工	457	20/12	800	1,200	50.0%	21/12	7,000	483.3%
7718	スター精	1,424	20/12	700	1,050	50.0%	21/12	1,650	57.1%
1954	日工営	2,914	21/6	2,900	4,250	46.6%	22/6	6,400	50.6%
7483	ドウシシャ	2,100	21/3	5,500	8,000	45.5%	22/3	8,280	3.5%
8154	加賀電子	2,201	21/3	4,500	6,500	44.4%	22/3	8,000	23.1%
7482	シモジマ	1,448	21/3	210	300	42.9%	22/3	650	116.7%
7640	トップカルチ	406	20/10	175	250	42.9%	21/10	270	8.0%
2146	UT	3,415	21/3	4,100	5,800	41.5%	22/3	9,000	55.2%
9896	JKHD	802	21/3	3,200	4,500	40.6%	22/3	4,900	8.9%
3696	セレス	2,264	20/12	1,000	1,400	40.0%	21/12	1,680	20.0%
4617	中国塗(注)	1,032	21/3	5,200	7,200	38.5%	22/3	8,200	13.9%
6929	日セラ	2,677	20/12	2,100	2,900	38.1%	21/12	3,250	12.1%
8075	神鋼商	1,738	21/3	2,700	3,700	37.0%	22/3	5,700	54.1%
7442	中山福	485	21/3	390	530	35.9%	22/3	550	3.8%
8416	高知銀	822	21/3	2,000	2,700	35.0%	22/3	2,800	3.7%
3040	ソリトン	2,126	20/12	1,040	1,400	34.6%	21/12	1,500	7.1%
1801	大成建	3,710	21/3	84,000	113,000	34.5%	22/3	133,000	17.7%
8570	イオンFS(注)	951	21/2	15,000	20,000	33.3%	22/2	40,000	100.0%
5410	合同鉄	2,091	21/3	6,000	8,000	33.3%	22/3	8,200	2.5%
2812	焼津水化	987	21/3	150	200	33.3%	22/3	210	5.0%
6291	エアータック	1,369	20/12	638	850	33.2%	21/12	1,000	17.6%
2819	エバラ食品	2,339	21/3	1,784	2,350	31.7%	22/3	2,450	4.3%
6644	大崎電	611	21/3	1,600	2,100	31.3%	22/3	3,400	61.9%
3341	日本調剤	1,708	21/3	6,266	8,200	30.9%	22/3	9,700	18.3%
4312	サイバネット	887	20/12	2,140	2,800	30.8%	21/12	2,900	3.6%
2337	いちご(注)	307	21/2	7,700	10,000	29.9%	22/2	12,000	20.0%
6070	キャリアL	1,067	21/2	583	750	28.6%	22/3	860	14.7%
8928	穴吹興産	1,559	21/6	4,200	5,400	28.6%	22/6	5,500	1.9%
6954	ファナック	20,420	21/3	47,700	61,200	28.3%	22/3	91,200	49.0%
7203	トヨタ	7,081	21/3	890,000	1,140,000	28.1%	22/3	2,290,000	100.9%
1925	ハウス	2835.5	21/3	164,000	210,000	28.0%	22/3	294,000	40.0%
4917	マンダム	1,832	21/3	1,950	2,450	25.6%	22/3	5,000	104.1%
8411	みずほFG	138.6	21/3	400,000	500,000	25.0%	22/3	630,000	26.0%
3678	メディアドゥ	7,760	21/2	2,000	2,500	25.0%	22/2	3,000	20.0%
4671	ファルコHD(注)	1,594	21/3	900	1,100	22.2%	22/3	1,300	18.2%

*2020年9月18日の会社四季報秋号の発売に伴い、東証1部上場の企業を対象に、今期経常利益予想について東洋経済予想が会社発表予想を上回っており、東洋経済予想が来期についても増益予想となっている企業について9/23に検索したところ344銘柄が該当した。ここでは、その中から今期経常利益予想について会社発表を東洋経済が上回る企業について乖離率上位50社を掲載している。なお、銘柄名の横に(注)のついた銘柄の会社予想経常利益については、上限予想と下限の中間値を掲載している。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巣鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巣鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第190号
加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大1.1990% (ただし約定代金230,000円以下の場合は最大2,750円)の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室